

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十四年葉月



拝啓 残暑きびしきおりから皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月をご報告することが盛りだくさんです。



7月15日(日)、東京都江東区の清澄庭園、大正記念館にて「第3回臥龍梅を愉しむ会」を開催いたしました。昨年は東日本大震災もあって急遽中止いたしましたので2年ぶりの開催となります。今回は、前2回の北トピアから場所を変えて緑豊かな公園の景観も楽しめる会場にいたしました。約150名分の入場券は3ヶ月前から完売しておりました。当日は予定時間の1時間前から大勢のお客様が列を作って開場を待ってくださり、開宴とともに会場は大賑わいとなりました。テーブルには短程渡船の純米大吟醸袋吊、山田錦45%精米の大吟醸、菅富士の純米吟醸、夏向きに純米吟醸の活性にごり酒をご用意いたしました。さらにブースには金賞受賞の大吟醸袋吊、名古屋局首位賞の大吟醸袋吊、備前雄町の純米大吟醸袋吊、純米大吟醸涼風夏酒の袋吊等、とっておきのお酒をご用意いたしました。会は「臥龍梅クイズ」、抽選会と盛りだくさんのイベントを交えて進行しました。合間に、1週間前に結婚式を挙げたばかりの弊社首都圏営業担当の日下部君を奥さんと一緒に紹介し、さらに「臥龍梅を愉しむ会」で知り合ってこの秋めでたく結婚される予定のカップルをご紹介すると、やんやの喝采を浴びました。会の最後には私の着ていた半纏や臥龍梅の大型幟を景品にした大ジャンケン大会で会場は割れんばかりに盛り上がりました。終わってみると、用意したお酒720ml壺100本、1.8L壺15本がすっ

からかんになっておりました。皆様、臥龍梅を存分にお召し上がりいただけたものと存じます。次回はもう一回り大きな会場でさらに趣向を凝らして開催いたしますので是非ともまたご来場ください。

翌週の24日には岩手県の花巻に出かけました。菅原杜氏をはじめ蔵人一同と全国新酒鑑評会金賞受賞の祝勝会を開催するためです。会場には杜氏や頭の奥様方もご招待しました。蔵人が半年間仕事に専念できたのも不在の間家庭を守ってくれる奥様方があってこそなのです。蔵人とそのご家族への慰労と感謝を込め、来季に向けて氣勢を上げて酒宴を催しました。家族と一緒にくつろいだ表情の蔵人たちを見てほっといたしました。



さて、今月は「純米吟醸 超辛口」の生酒をご案内いたします。きりりと冷やした超辛口酒は暑さしのぎにもってこいです。数量限定ですのでお早めにご注文ください。

季夏の候、おからだには十分お気をつけられますよう。

平成24年8月吉日

敬具

鈴木 克昌